

活動の一年を振り返って

千葉県そば推進協議会 副理事長 腰 原 弘 敏
段位認定、競技大会実施委員長



設立十一年目を迎え、新体制で挑んだ一年でした。年間行事としては、5月に二年目となる、迷人団体戦、二十回目となる全国名人戦予選会。8月には、千葉県そば推進協議会として、初めての特別講演会を開催し、理事長、及び腰原常任顧問が講師で行い、盛況のうちにも終了いたしました。

10月には初段・二段位認定会を行い、多くの受験者迎えて無事終了いたしました。初段・二段位受験者の確保は、それぞれの地域のそば打ち倶楽部が日頃から会員指導をしっかりと行った結果かと思えます。本当にありがとうございました。今後もうまくお願いいたします。

そして、土浦で全麵協が新しい基準で行う四段位認定会のスタッフとして、正式要請

粋蕎だより

vol. 9

発行

2016年1月20日
千葉県そば推進協議会
事務局
千葉市中央区道場北2-17-7
(株)昭和広告社内
TEL 043 (225) 4113

による応援に16名が手伝いに伺いました。昨年の三段位認定会における不祥事を払しょくする大活躍で、大会運営に非常に大きく貢献いたしました。

的に三段位を開催できると喜ばれていました。これもひとえに多くの会員の皆様方のご協力があったからこそ感謝する次第です。

その勢いをかって、11月に三段位認定会を千葉手打ち蕎麦の会と共同開催し、阿部支部長や手打ちそばの会瀧上会長を交え、事前打ち合わせ会を開催し、当日は役割に即した対応で非常に満足いく内容で大会を終えることが出来ました。阿部支部長も大変満足され、これで千葉において、恒久

忙しい一年でしたが、これからも、会員相互のご協力の中で、会員それぞれのスキルアップを図る意味でも、技術講習会を開催し技術の向上を図ったり、楽しいそば打ち大会を開催したりして企画運営を行ってまいります。

今後、皆様方のご協力をよりしくお願いいたします。また、全麵協についても、

来期運営に於いて大きな変革があります。会員皆様のご協力を得て対応し、全麵協を支えていかなければなりません。これからも、協力しながらEnjoy Soba Lifeを実践して行きたいと考えています。

平成 27 年 10 月 20 日

千葉県そば推進協議会
代表 石橋テツエ 様

四段位技能審査土浦認定会実行委員会
江戸流手打ち蕎麦 聯合之衆 代表 熱田成徳

四段位技能審査会土浦認定会スタッフ派遣のお礼

紅葉がたけなわとなり、新そばの季節を迎えるにあたりまして、貴会におかれましては、益々お忙しくなることと存じます。

さて、先般実施いたしました標記認定会において、スタッフのご派遣をご依頼いたしましたところ、お忙しいところにも係わらず快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。

準備を含め 3 日間、貴会の会員の皆様には、スタッフとして細部にわたるお気遣いや作業内容の熟知とチームワークによりまして、無事に四段位認定会を終了することができましたことに、本会一同深く感謝申し上げます。

今後とも、ご指導ご協力をお願い申し上げますとともに、貴会と会員皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げまして、まずは書中にて御礼とさせていただきます。

さくら蕎麦の会設立15年 記念蕎麦収穫秋祭り

さくら蕎麦の会会長 金子 忠 靖
(千葉県そば推進協議会専務理事)

平成27年12月13日に
さくら蕎麦の会では設立15
年記念蕎麦収穫秋祭りを行
いました。

これは地域に根差した会活
動を目指す、さくら蕎麦の会
が、日ごろお世話になってい
る地元の方々に感謝の意を込
めて300名の方々に無料で
蕎麦振る舞いをしようといっ



たものです。

この日は朝から時々小雨が
降る寒い一日でしたが、午前
8時30分に全員集合し、テ
ントの設置、会場の設営など
から始めました。10時半頃
から会場には多くの方々が集
まり、予定を15分早めて
10時45分に開場しました。
和やかな雰囲気の中に熱気が
高まり素晴らしいイベントと
なりました。



調理部門では前日から本会
が栽培、今年収穫したソバで
300人前の蕎麦を打ち、調
理室の外部にプロパンガスの
特設コンロを設置して11時
から蕎麦の無料提供を始めま
した。気温も寒かったので暖
かい掛け蕎麦は、大好評でし
た。

そば打ち体験教室部門では
午前中10組午後10組の方
が500gのそば打ち体験を
行いました。申込者が殺到し
ましたので先着20組で打ち
切りました。

デモ打ち部門では二台の打
ち台でそば打ちの模範演技を
行い、展示部門では会の活動



状況、そば栽培状況を写真パ
ネル展示。蕎麦粉の挽き方の
違いや粉の種類のいろいろを
現物やパネルで展示し説明係
が解説しました。

女子会はソバ粉を使ったお
菓子を10種作り、来場の皆
さんに試食をしていただき、
粉挽体験では石臼で玄蕎麦を
挽き、臼を廻す重さと面白さ
を実感していただきました。

相談部門ではそば打ちを始
めたい人へのアドバイス。入
会希望者の説明などを行い、
新たに4名の入会希望者があ
りました。

特に展示部門の蕎麦粉の挽
き方の違いによる粉の粗さに



については高い関心を集めまし
た。

来場の方々からは「単なる
そば祭りじゃなく、そば博覧
会の様だ」「友達を誘って来
ればよかった」などとお褒め
の言葉をたくさん頂きました。
そして何よりうれしかったこ
とは、会員の一人一人がきち
んと自らのポジションで、き
ちんと仕事をこなしてくれた
事。その結果として結束の絆
がさらに強まったことです。
趣味としての手打ちそばの楽
しさをさらに探求し、地域の
中で地域の皆さんと共に美し
い花を咲かせる。これがさく
ら蕎麦の会の願いです。

平成二十七年 事務局の仕事

千葉県そば推進協議会 事務局

和田 光 司

今年度の事務局の仕事は、昨年から比べ、夏の講演会、三段位認定会が増えました。事務局の行う大会の基本的なスケジュールを説明します。



二月一日は仕事プラザに五月大会の施設利用申し込みに行きました。五月大会は名人戦と名人戦予選会を二日間で行います。開催日決定後、名人戦の案内状を推進協理事宛にメールとFAXで送付。

名人戦予選会の案内状は過去にさかのぼり参加した方に郵送します。同時にホームページに開催案内をアップします。参加申込み締切後、出場可否通知を郵送し、参加料の振込を確認します。また、そば粉の申込み状況も確認します。そば粉は桜井副理事長に手配をお願いし、発送前日までに受注量をそろえて事務局に届けていただきます。発送伝票を事前に作成しておき、発注数と発送伝票を確認しながら箱詰めし、ヤマト運輸に持ち込みます。

また、審査員に組合せ、大会スケジュール、参加申込書のコピー、大会使用そば粉を事前に発送いたします。大会前には、組合せポスター、選手用プログラム、打ち台の名札、受付表、時計係記入用紙、道員貸出表、スタッフ用プログラム、スタッフ名札、パソコン集計システムへの選手情報の入力、審査員採点表、弁当の手配など大会がスムーズに行われるように準備します。

大会当日、参加者が揃い大会が始まり、何事もなければホッと一息付けます。各組の審査終了後、審査員から採点表を受け取りパソコンに入力。すべての組が終わり集計し、結果を審査員に確認していただきます。これにより本戦出場者が決定いたします。大会終了後福井の本部宛に本戦出場者の結果と申込み資料を合わせて報告し、本戦出場申込み金を振り込みます。

名人戦予選会とはざっとこのような流れで行いますが、段位認定会とは初段位、二段位二日間で百名の近くの大会資料づくり、四百キログラムに及ぶそば粉の手配。また、名人

の戦予選会にはない認定書交付と成績表作成の作業が増えます。毎回、スタッフに応援をいただいておりますが、間違いのないように、常に緊張する作業です。

三段位につきましては、基本的に初二段の大会と同じ作業ですが、初二段認定会資料づくりと申込み受付が重複することがありましたが、大会に向けて、事前に阿部成男東日本支部長を迎え、千葉手打ち蕎麦の会と会合をもち昨年の不祥事がトラウマとなっておりまので、何事も慎重

に対処しました。結果、昨年の大会運営等の欠点を修正し、応援スタッフの方々も非常に良く機能し、無事終了できたことと思います。

ご紹介 ながいき そば倶楽部

千葉県長生郡長生村で四年前に遊休農地の解消、活用と地域の活性化を目的にして、有志15人により「ながいきそば倶楽部」を結成しました。

ソバは景観作物にもなり、またソバの実も利用できるという利点からソバの作付けを始めました。昨年は7町歩ほどの栽培を行いました。



だが、手探りの状態からの出発だったので多くの方々に力をお借りして、やっと収穫量も安定してきました。

次のステップとして収穫したソバを有効に利用するという事で手打ちそばにも挑戦し種蒔きから製粉そしてたべるところまで、一貫して行い、手打ちそばの普及も出来ればと思っています。

今回新たにお世話になる事になりましたのでよろしく御願い致します。

そば好きだけど、食べるだけで そばを打たない事務局ってあり？

千葉県そば推進協議会 事務局

和田 光 司

千葉県そば推進協議会（以下、推進協）の事務局を務めております和田です。

今から10年ほど前、石橋理事長から「和田さんパソコンできるわよね！良かったら手伝ってくれないかしら？」これが推進協との関わりの始まりです。

まず最初の仕事は、年度会計の収支報告書の作成。収入と支出の報告書ですが、専門ではないので、〇〇町内会や〇〇組合の同じような見本を参考に作成しました。その後、段位認定会が行われるにあたり、全麵協の「素人そば打ち段位認定会・開催と運営の手引き」というCDを渡され、「これ見といてー」。当時、大会の成績集計にはAccessという特殊なデータベースソフトを使用しており、たまた

ま会社とそのソフトがあり稼働することができました。もちろん取説は理事長から預かったCDの中。

大会当日、もえぎ野の武田修さんが審査員長でお越しになり、パソコン・プリンタ・このソフト一式を会場に持ち込まれました。このとき私はアシスタントとして指導を受けながら集計しました。翌年も武田修氏を審査

委員長に招いて、大会を行いました。ところが、「昨年経験したからもう大丈夫でしょ。わらな

いことがあれば聞いて？」のひと言に、「任してください」と返答したものの、その後の責任の重大さを痛感する羽目に。受験者にとって真剣に大会に臨んでいるのに、成績集計など数字をパソコンに打ち込むだけの仕事など軽く思っていたのが間違いの元。案の定、認定書の誤発行が大会終了後に判明。確か三人の受験者のお宅に認定書とバッジをもらい受けに、何度も頭を下げた覚えがあります。

その年に何度か理事会があり自分も参加をし、いつの間にか事務局となったような気がします。ある時、「和田さん理事会の会議録はどうなってるの？」と言われ、今まで事務局などやったことがなく、そのような会議録なんて作ったことも、理事の方に報告することも知らず、何でも面倒な事務局などやって

いつの間にか10年近くが過ぎ、事務局の役割や年間のスケジュールも把握できるようになりました。皆さんの協力があり、会社の社員の理解もあり、なんとか務めております。今後どのくらい務められるかわかりませんが、一層のご協力をお願い致します。

全国麺類文化地域間交流推進協議会

素人そば打ち段位認定会

開催と運営の手引

はじめに 「開催と運営の手引」使い方の説明

開催の検討

- 開催は可能か？
 - ①全麵協会員(A・B)
 - ②入会から1年間経過
- 開催経費の検討
 - ①収支計算
 - ②応募者数
- 開催にあたって
 - ①地域調整
 - ②開催時期

開催手続き

- 開催要項の作成
 - ①開催・募集要項(例)
 - ②認定開催の広報・周知
- 審査員の依頼
 - ①認定審査員規程
 - ②認定審査員(全国・地方)
- 認定会開催手続
 - ①全麵協事務局関係
 - ②認定会日程の組み立て

認定会開催

- 準備作業
 - ①スタッフ
 - ②準備用品
- 開・閉会式
 - ①進行台本
- 認定審査会
 - ①認定会支援システム
- 審査員会議
 - ①全国審査員統一見解

結果の報告

- 全麵協へ開催報告書類提出
- 来賓、審査員、会場への礼状
- 収支計算書、認定会総括の作成・協議

認定会写真 平成16・17年度に撮影

- 北海道札幌市
- 北海道石狩市
- 福島県山形市(現・喜多方市)
- 栃木県宇都宮市(現・日光市)
- 長野県松本市(第1.0回日本そば博)
- 兵庫県三田市永沢寺

力量の目安

段位	力量の目安
初段位	一人で所定の時間内に、人前に出せるそばが打てる力量を持つ。
二段位	初段に加え、家庭や仲間と「そば会」を開くことができ、そば打ちを他人に教えることができる。
三段位	二段に加え、人前でそば打ちが披露できる市町村を代表してそばの紹介(歴史、文化)ができる。
四段位	三段に加え人格に優れ、手打ちそば普及に貢献実績を持つ。都道府県を代表してそばの紹介(歴史、文化)ができる。
五段位	四段に加え栽培、歴史、文化、健康効果などそば全般に精通し、日本の伝統食としてそばの紹介と普及ができる。

重要届出用紙・書式・規程集 届出用紙、書式、規程などを直接呼び出すことが出来ます。

- 開催手続き**
 - ①段位認定制度実施要綱
 - ②段位認定制度実施基準
 - ③認定会開催申請書兼後援申請書
 - ④技能審査申込者名簿(用紙)
 - ⑤認定審査員規程
 - ⑥技能審査申込書
- 認定会開催**
 - ①段位認定会支援システム
 - ②技能審査チェック項目
 - ③技能審査表(初～三段位)
 - ④「全国認定審査員」統一見解
 - ⑤出場者説明会資料(初～二段位)
 - ⑥認定会運営マニュアル(認定会当日)
- 結果の報告**
 - ①認定会開催報告書
 - ②技能審査認定者名簿(用紙)

制作：平成18年8月25日 制作・著作：全麵協 段位認定会

www.showa-ad.co.jp/chibasoba/